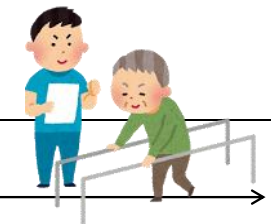
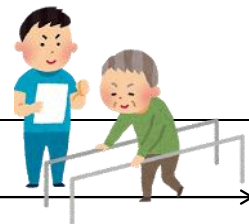

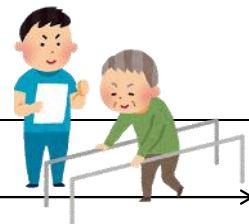



患者氏名		〇様		病名	大腿骨頸部骨折		症状	大腿部の痛み・歩行困難		担当医	〇 印		受け持ち看護師			
項目	月日	1月0日		1月1日		1月2日～		1月4日～		1月8日～1月11日						
		手術前日		手術前(当日)		手術後(当日)		手術後1日目～		手術後3日目～		手術後7日目～10日目				
達成目標		手術の準備ができる				強い痛みがない 術後の安静が守れる		ベッドから起き上がることができる リハビリが開始できる		痛みが軽減する 車椅子で入院生活が送れる 安全に移動できる		シャワー浴を行うことができる 歩行訓練ができる 安全に移動ができる				
治療・薬剤 (内服)	中止された以外のお薬は夜まで飲んで下さい	朝のお薬は、 ( ) を飲んでください		手術後心電図や呼吸状態を測定する器械をつけます 酸素のマスクをつけます		抗血栓薬 ( ) 以外の普段の飲んでいるお薬を再開してください		創のテープは適宜、主治医が診察して必要時、交換します		手術後7日目に採血とレントゲンがあります						
		手術前に点滴をします 朝一番(9時)の手術の患者様は手術室で行います		手術室より背中から痛み止めの管が入ってきます 手術後点滴は持続的におこないます		鎮痛薬の処方が出ます 食事が摂れれば夕方に点滴は終了します		背中への痛み止めの管を抜きます、管を抜いた翌日より術前に中止していた抗血栓薬がある人は再開します								
活動・安静度	入院時の安静度を継続して下さい →			ベッド上安静です 寝返りはできます		朝まではベッド上安静です 身体を拭き、着替えを行います 理学療法士によるリハビリテーションが始まります		背中への管、創の管が抜けた翌日からシャワー浴ができます								
	手術前から大腿四頭筋運動や足首・膝の運動を行なって下さい					午前から車いすに乗ることができます		リハビリの状況に応じて車いすや歩行器での移動が可能です 転ばないように看護師などが付き添います								
食事	21時以降は食べられません。 お水・お茶・ポカリスエットは飲みます 特別な栄養管理の必要性(有・無)		食事はできません お水は( )時まで飲みます		食事はできません		お腹の動きが確認できたら朝食から手術前と同じ内容の食事が出ます		制限はありません →							
排泄	制限はありません →			尿の管が入ってきます		回復に合わせて尿の管を抜きます		リハビリの状況に応じて車いすや歩行器でトイレまで行くことができます								
患者様およびご家族への説明	麻酔について医師の説明があります シャワー浴や清拭をして身体を清潔にします 爪の長い方は切り、マニキュア・ジェルネイル・スカルプネイルも落としてください		洗面・歯磨きはできます 指輪・時計・めがね・義歯など外せるものは外してください 弾性ストッキングは手術しない方のみ着用してください (もう片方は手術室に持参します) 貴重品の管理はご家族でお願いします		足にマッサージする器械をつけます		足にマッサージする器械をつけます ベッドから起き上がって車いすに乗ることができれば、外れます									
	術後に使用する寝巻き(浴衣タイプ)を準備してください 部位確認のため医師がIDバンドに印を記入します				うがいができます 手術後は看護師が適宜伺います 何かありましたら、遠慮なく申し出て下さい		歩行ができるようになるまで、または手術して10日経過するまでは弾性ストッキングは両足着用して下さい 足首の運動を行いましょ									

注1 場合によっては内容を変更することがあります。

内容を確認し2枚目に署名をお願いします

患者氏名	〇 様		
項目	1月12日 ~ 1月15日 手術後11日目~14日目	1月16日 ~ 1月19日 手術後15日目~18日目	1月20日 退院予定日（状態で前後します）
達成目標	歩行器での歩行訓練ができる 安全に移動ができる	歩行器使用し歩行出来る 杖歩行の訓練ができる 退院後の日常生活の注意点が理解できる	退院後の日常生活の注意点が理解できる
治療・薬剤 (内服)	手術後14日目に採血とレントゲンがあります 鎮痛剤は痛みに応じて調整してください 		<b>日常生活の注意事項について</b>  1. 動作について ・トイレは洋式を使用してください ・立ち上がる時には動かないものにつかまってください ・重いものを持ち上げることはなるべく避けましょう
活動・安静度	シャワー浴ができます  リハビリテーションの状況に応じて歩行の許可が出ます 一人で車いすや歩行器を使用して移動が問題ないかは、看護師とリハビリ療法士で相談します。それまでは付き添いを依頼してください。		2. 運動について ・杖は歩行に慣れるまでは、しばらく使用しましょう ・転倒に注意しましょう ・階段を上るときには手術していない方から、下るときには手術した方から始めましょう ・歩行していて、疲れたら休むようにしましょう  3. 入浴について ・浴室で使用する椅子は膝の高さよりも高いものを準備した方がいいでしょう ・湯船につかるのは主治医に確認してから行って下さい
食事	制限はありません		その他 ・患部の腫れや、痛みが急激に悪化したときには病院に連絡して下さい ・スポーツや運動を始める際には主治医に相談しましょう ・自転車については主治医に相談しましょう
排泄	制限はありません		注) リハビリ病院転院の方は転院先のスタッフの指示にしたがってください
患者様およびご家族への説明	転倒に注意してください 自宅に杖やシルバーカーがある人はリハビリで使用するので持参してください リハビリ病院転院予定の方は手術14日目以降転院が可能となります。転院調整についてはソーシャルワーカー（相談員）から適宜説明があります		次回外来について看護師が説明を行ないます 自宅退院予定の方は、午前10時頃です（リハビリ病院転院の方は転院先の病院との調整時間に当院出発となります） IDバンドは退院時に看護師がはずします 自宅退院後のご相談・お問い合わせは外来の看護師が承ります

注1 場合によっては内容を変更することがあります。

2021.02.20 180033

上記内容について説明を受け、内容を理解し（同意します・同意しません）

年 月 日 患者氏名

（代理人の場合）代理人名

（続柄）